

- 原著 -

長野赤十字病院口腔外科開設後 20 年間の
入院患者の臨床統計的観察

櫻井 健人, 横林 敏夫, 清水 武, 五島 秀樹,
鈴木 理絵, 大久保 雅基, 上杉 崇史

長野赤十字病院口腔外科
(主任: 横林敏夫部長)

Clinico-statistical Observation on Inpatients during the past 20 years at
Department of Oral and Maxillofacial Surgery, Nagano Red Cross Hospital

Takeo SAKURAI, Toshio YOKOBAYASHI, Takeshi SHIMIZU,
Hideki GOTO, Rie SUZUKI, Masaki OKUBO, Takashi UESUGI

Department of Oral and Maxillofacial Surgery in Nagano Red Cross Hospital
(Director: Toshio Yokobayashi)

平成 17 年 10 月 20 日受付 11 月 30 日受理

Key words : clinico-statistical observation(臨床統計的観察), inpatients(入院患者), oral and maxillofacial surgery(口腔外科)

Abstract : We performed clinical statistical observations on Inpatients for twenty years, from January 1984 to December 2003, at the Department of Oral and Maxillofacial Surgery of the Nagano Red Cross Hospital. Some of the results obtained are listed below.

- 1 . The total number of patients was 5,284 ,consisting of 2,997 males (56.7%) and 2,287 females (43.3%) : a male to female ratio of 1.3: 1. Patients in their 50s accounted for the most visits (16.3%), followed by those in their sixties and those in their twenties.
- 2 . Patients living in Nagano city accounted for 61.1% of the total number of patients.
- 3 . As for referrals, 3,381 were sent to us from other clinics, while the remaining 393 were referred from other departments within the hospital.
- 4 . In terms of disease classification, 8.7% of the patients visited due to craniofacial deformities; 12.2% due to traumatic injury;13.3% due to inflammation; 2.0% for oral mucosa disease; 27.2% due to cystic lesions, 15.9% for tumors; 2.4% for tumor-like lesions; 0.5% for temporomandibular joint disorders; 1.5% due to salivary gland disease, 0.6% for blood disease; 6.4% due to dental caries and periodontal disease, and 3.1% for general dental disorder.
- 5 . The total number of operations performed on the inpatients was 3,588; 2,241 under general anesthesia and 1347 under local anesthesia.

抄録 : 今回, わたくしたちは長野赤十字病院口腔外科の開設後の 1984 年 1 月から 2003 年 12 月までの 20 年間の入院患者について臨床統計的観察を行い, 以下の結果を得た。

- 1 . 対象期間中の入院患者総数は癌患者等同一患者が複数回入院するケースもあり一部重複例もあるが, 5,284 名であった。
- 2 . 性別は男性 2,997 名 (56.7%), 女性 2,287 名 (43.3%) であり, その比は 1.3: 1 であった。
- 3 . 居住地域別では, 当科の位置する長野市が 61.1% と最も多く, 隣接する須坂市 5.3%, 中野市 2.7% 等であった。また,

県外からの入院患者は2.4%であった。

4. 院外, 院内からの紹介患者の合計は3,774名(71.4%)であった。そのうち院外からの紹介が3,381名(89.6%), 院内からの紹介が393名(10.4%)であり 紹介医療機関の内訳をみると歯科・口腔外科からの紹介が2,734名(72.4%)と最も多く, ついで内科7.5%, 耳鼻科5.4%, 外科4.9%の順であった。
5. 疾患別では, 発育異常・奇形・変形8.7%, 外傷12.2%, 炎症性疾患13.3%, 粘膜疾患2.0%, 嚢胞性疾患27.7%, 腫瘍性疾患15.9%, 腫瘍類似疾患2.4%, 顎関節疾患0.5%, 唾液腺疾患1.5%, 血液疾患0.6%, う蝕および歯周疾患6.4%, 一般歯科疾患3.1%等であった。
6. 同期間の中央手術室における手術件数は3,588件で, 全身麻酔症例2,241件(62.5%), 局所麻酔症例1,347件(37.5%)であった。

緒 言

長野赤十字病院口腔外科は新病院への移転を機に長野県北信地域唯一の口腔外科専門医療機関として1983年10月に開設され, 2003年10月で開設満20年を迎えた。当院は現在, 721床25診療科を有する長野県北信地域(診療圏人口約65万人)の中核医療機関であり, 「地域支援病院」にも指定され, 地元医療機関と密接な連携をとりながらあらゆる顎口腔疾患の診断, 治療を行っている。

わたくしたちは, 当科開設後20年間の外来患者の臨床統計的観察を行い報告¹⁾したが, 今回, 当科開設後20年間の入院患者の実態および動向を把握するため臨床統計的観察を行ったので報告する。

対象および方法

長野赤十字病院口腔外科の開設後の1984年1月から2003年12月までの20年間に当科において入院加療を行った5,284名である。なお, 複数の疾患を有する場合は, より重度の疾患を優先して1症例1疾患とし, 同一患者の複数回入院はそれぞれ1症例とした。これらについて年次別, 月別, 性別, 年齢, 居住地域, 紹介医療機関, 疾患別分類および中央手術室手術件数のそれぞれにつき臨床統計的観察を行った。

結 果

1. 年次別入院患者数

年次別にみると開設当初の1984年から1991年の間は年間150~200名前後で推移していた。1992年以降は200名以上を維持し, 1997年に300名を越え漸次増加し, 2002年2003年の最近2年間は440名を越えた(図1)。

2. 月別入院患者数

月別にみると, 8月が497名と最も多く, 次いで3月の494名であった。1月, 12月の冬季は少ない傾向にあった(図2)。

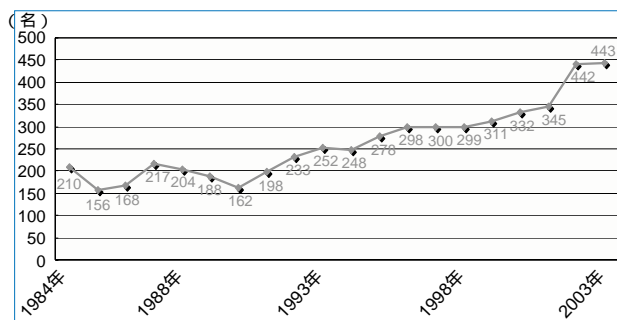


図1 年次別入院患者数

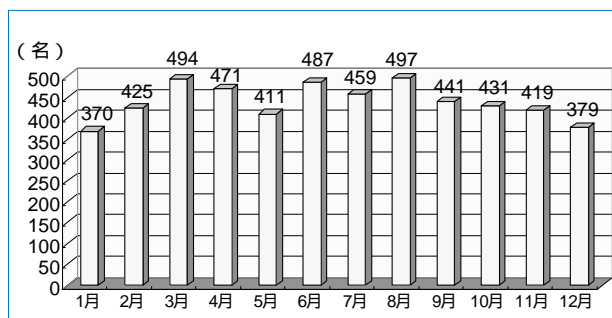


図2 月別入院患者数

3. 性別および年齢別入院患者数

性別では 男性2,997名(56.7%), 女性2,287名(43.3%)で男性がやや多く, その比は1.3:1であった。年代別にみると50歳代が863名(16.3%)と最も多く, 次いで60歳代794名(15.0%), 20歳代707名(13.4%)の順であった(図3)。

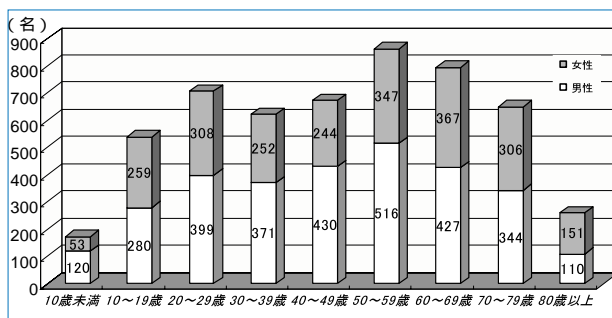


図3 性別および年齢別入院患者数